

2019年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月11日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション
 コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 木島 修

TEL 052-769-1150

定時株主総会開催予定日 2019年8月27日

配当支払開始予定日

2019年8月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年8月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期の連結業績(2018年6月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期	33,862	0.9	447	20.3	442	30.2	188	17.0
2018年5月期	34,186	4.2	371	72.6	339	255.2	227	

(注) 包括利益 2019年5月期 177百万円 (29.7%) 2018年5月期 252百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年5月期	8.74	8.74	2.2	1.7	1.3
2018年5月期	22.43	22.24	2.9	1.3	1.1

(参考) 持分法投資損益 2019年5月期 百万円 2018年5月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期	25,881	8,721	33.6	904.30
2018年5月期	26,283	8,689	32.9	910.21

(参考) 自己資本 2019年5月期 8,701百万円 2018年5月期 8,657百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年5月期	1,142	232	1,057	4,612
2018年5月期	1,198	349	484	4,759

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年5月期		0.00		14.00	14.00	109	62.4	1.4
2019年5月期		0.00		14.00	14.00	109	160.1	1.5
2020年5月期(予想)		0.00		14.00	14.00			

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,835	0.8	147		175		244		38.99
通期	34,190	1.0	490	9.7	454	2.7	112	40.1	0.92

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 有
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期	7,832,800 株	2018年5月期	7,805,500 株
期末自己株式数	2019年5月期	1,901 株	2018年5月期	1 株
期中平均株式数	2019年5月期	7,821,675 株	2018年5月期	7,761,748 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年5月期の個別業績(2018年6月1日～2019年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期	33,106	1.1	440	2.8	430	9.8	169	19.1
2018年5月期	33,466	3.5	452	66.7	392	227.8	209	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期	6.29	6.29
2018年5月期	20.14	19.97

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年5月期	25,772		8,834		34.2	918.73		
2018年5月期	26,165		8,810		33.6	925.76		

(参考) 自己資本 2019年5月期 8,814百万円 2018年5月期 8,778百万円

2. 2020年5月期の個別業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	12,284	19.9	135		112		円 銭
通期	26,229	20.8	253	41.0	22	86.4	6.71
							12.41

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	—	—	35,287.67	35,287.67
2019年5月期	—	—	—	80,000.00	80,000.00
2020年5月期(予想)	—	—	—	80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当連結会計年度（2018年6月1日～2019年5月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより、緩やかな回復基調が継続しているものの、日本経済とつながりのある大国間の貿易摩擦問題や、海外経済の不確実性などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、業種業態の垣根を越えた競争の激化が進む中、真夏の記録的猛暑や、度重なる自然災害の影響などにより、個人消費は一進一退を続け、消費者マインドの低下傾向や、人件費や物流費の上昇により厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待を超えるべく、店舗ごとで独創的な空間を創出することを目的として「商品を発掘する楽しさ」だけではなく、「ドキドキ・ワクワクする体験」を提供すべく事業活動を行ってまいりました。店舗運営においてはコンテンツやイベントと連携し、リアルでしか体験できない独創的な空間を創出してまいりました。また、販売費及び一般管理費の削減、商品供給体制の強化、また既存商品のWEB販売など継続的に取り組んでまいりました。

店舗につきましては、直営店8店を新規出店し、直営店18店、FC店2店を閉鎖したことにより、当社グループの当連結会計年度の店舗数は、直営店340店、FC店6店の合計346店となりました。

このような事業活動の結果、当連結会計年度の売上高につきましては、33,862百万円と前連結会計年度と比べ323百万円の減収（0.9%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化を継続的に取り組んだものの、売上高の減少が影響し12,737百万円と246百万円減少（1.9%減）いたしました。販売費及び一般管理費については削減及び効率化に取り組んだ結果、営業利益は447百万円と75百万円の増益（20.3%増）となりました。経常利益につきましても、営業利益の増益に伴い、442百万円と102百万円の増益（30.2%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は188百万円と前連結会計年度と比べ38百万円の減益（17.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

① 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

当社は、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア（CD・DVD類）、食品、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態等を運営しております。

当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は33,106百万円と前連結会計年度と比べ360百万円の減収（1.1%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上の減少が影響し12,418百万円と297百万円減少（2.3%減）いたしました。販売費及び一般管理費については削減及び効率化に取り組んでおりますが、営業利益は440百万円と前連結会計年度と比べ12百万円の減益（2.8%減）となりました。店舗につきましては、直営店8店を新規出店し、直営店18店、FC店2店を閉鎖したことにより、当連結会計年度の店舗数は、直営店340店、FC店6店の合計346店となりました。

② その他

株式会社Village Vanguard Webbedは、オンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、面白味のある商品を多数取り扱っております。

また、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が2社ありますが、比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、2016年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても2017年6月末をもって店舗を閉鎖、今後、順次、会社清算へ向けた手続を進めていく予定であります。

子会社（株式会社Village Vanguard Webbed及び海外子会社2社）の当連結会計年度の業績につきましては、売上高は865百万円と前連結会計年度と比べ25百万円の増収（3.1%増）となりました。営業利益は2百万円（前年同四半期は84百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、22,243百万円となりました。これは、現金及び預金が146百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、3,638百万円となりました。これは、建物及び構築物が81百万円、差入保証金が21百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、25,881百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.2%増加し、9,510百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金50百万円減少いたしましたが、買掛金が403百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.7%減少し、7,649百万円となりました。これは、長期借入金が730百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、17,160百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて32百万円増加し、8,721百万円となりました。これは、資本金が14百万円、資本剰余金が14百万円、利益剰余金が26百万円増加したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ146百万円減少し、当連結会計年度末には4,612百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュフロー

営業活動の結果獲得した資金は1,142百万円(前連結会計年度は1,198百万円の収入)となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益359百万円、減価償却費310百万円、仕入債務の増加額403百万円があったためであります。

② 投資活動によるキャッシュフロー

投資活動の結果使用した資金は232百万円(前連結会計年度は349百万円の収入)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出41百万円、無形固定資産の取得による支出113百万円があったためであります。

③ 財務活動によるキャッシュフロー

財務活動の結果使用した資金は1,057百万円(前連結会計年度は484百万円の収入)となりました。

これは、主に長期借入れによる収入3,050百万円があったものの、長期借入金の返済による支出3,830百万円があったためであります。

(4) 今後の見通し

2020年5月期は、今期減収となった売上高の増加を図るべく、新規出店店舗については当社の魅力を再認識してもらえる店づくりおよび業態の変革への取り組み、既存店舗についてはPOSを活用した商品施策を継続いたします。また、店舗集客を目的とした情報発信として店舗内外でのイベント開催や魅力ある店舗作り、店舗運営以外では新たな収益源の確保に向けた外販活動、既存店舗商品のWEB販売にも取り組む戦略をとってまいります。

経営指標といたしましては、既存店売上高の対前年比の伸長率を中心に、既存店1店舗当たりの営業利益率の向上を図ってまいります。

以上により、2020年5月期の業績見通しにつきましては、売上高34,190百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益490百万円(前年同期比9.7%増)、経常利益454百万円(前年同期比2.7%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,759	4,612
売掛金	1,293	1,265
商品	16,141	15,944
その他	323	425
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	22,515	22,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,477	1,396
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	176	237
建設仮勘定	94	3
有形固定資産合計	1,749	1,638
無形固定資産		
ソフトウェア	191	407
ソフトウェア仮勘定	209	0
その他	1	1
無形固定資産合計	402	409
投資その他の資産		
長期前払費用	86	82
差入保証金	1,528	1,506
その他	3	3
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,617	1,590
固定資産合計	3,768	3,638
資産合計	26,283	25,881

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当連結会計年度 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,055	4,458
1年内償還予定の社債	—	30
1年内返済予定の長期借入金	3,515	3,464
未払金	601	538
未払法人税等	287	266
未払消費税等	52	96
株主優待引当金	32	35
賞与引当金	52	60
資産除去債務	41	6
その他	580	553
流動負債合計	9,220	9,510
固定負債		
社債	—	105
長期借入金	6,302	5,572
長期未払金	229	155
役員退職慰労引当金	340	352
退職給付に係る負債	252	225
資産除去債務	1,175	1,186
その他	75	52
固定負債合計	8,374	7,649
負債合計	17,594	17,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,301	2,315
資本剰余金	3,778	3,792
利益剰余金	2,559	2,585
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,638	8,693
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18	7
その他の包括利益累計額合計	18	7
新株予約権	31	20
純資産合計	8,689	8,721
負債純資産合計	26,283	25,881

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
売上高	34,186	33,862
売上原価	21,201	21,124
売上総利益	12,984	12,737
販売費及び一般管理費	12,612	12,290
営業利益	371	447
営業外収益		
仕入割引	28	32
業務受託料	80	96
為替差益	—	10
受取負担金	57	16
その他	68	32
営業外収益合計	235	189
営業外費用		
営業外支払手数料	70	32
支払利息	149	136
為替差損	1	—
その他	46	25
営業外費用合計	267	194
経常利益	339	442
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	5	2
事業分離における移転利益	276	—
債務免除益	45	—
特別利益合計	327	3
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	32	28
減損損失	229	57
特別損失合計	262	86
税金等調整前当期純利益	403	359
法人税、住民税及び事業税	159	181
法人税等調整額	17	△9
法人税等合計	176	171
当期純利益	227	188
親会社株主に帰属する当期純利益	227	188

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
当期純利益	227	188
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	△10
退職給付に係る調整額	24	—
その他の包括利益合計	25	△10
包括利益	252	177
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	252	177

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,246	2,223	2,440	△0	6,911
当期変動額					
新株の発行	804	804			1,608
剰余金の配当			△107		△107
親会社株主に帰属する当期純利益			227		227
資本金から剰余金への振替	△750	750			—
連結子会社株式の取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	54	1,554	119	—	1,727
当期末残高	2,301	3,778	2,559	△0	8,638

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	17	△24	△6	38	6,942
当期変動額					
新株の発行					1,608
剰余金の配当					△107
親会社株主に帰属する当期純利益					227
資本金から剰余金への振替					—
連結子会社株式の取得による持分の増減					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	24	25	△6	18
当期変動額合計	0	24	25	△6	1,746
当期末残高	18	—	18	31	8,689

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション(2769) 2019年5月期 決算短信

当連結会計年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,301	3,778	2,559	△0	8,638
当期変動額					
新株の発行	14	14			28
剰余金の配当			△162		△162
親会社株主に帰属する当期純利益			188		188
資本金から剰余金への振替					—
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	14	14	26	—	54
当期末残高	2,315	3,792	2,585	△0	8,693

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18	—	18	31	8,689
当期変動額					
新株の発行					28
剰余金の配当					△162
親会社株主に帰属する当期純利益					188
資本金から剰余金への振替					—
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10	—	△10	△11	△22
当期変動額合計	△10	—	△10	△11	32
当期末残高	7	—	7	20	8,721

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	403	359
減価償却費	404	310
固定資産除却損	32	28
事業分離における移転利益	△276	—
減損損失	229	57
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15	△27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
受取利息	△0	△0
支払利息	149	136
支払手数料	70	32
売上債権の増減額(△は増加)	50	33
たな卸資産の増減額(△は増加)	17	197
仕入債務の増減額(△は減少)	357	403
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1	43
その他	△33	△143
小計	1,407	1,443
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△148	△139
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△61	△161
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,198	1,142
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87	△41
無形固定資産の取得による支出	△143	△113
差入保証金の差入による支出	△66	△38
差入保証金の回収による収入	90	32
事業分離による収入	647	—
その他	△91	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	349	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190	—
長期借入れによる収入	3,470	3,050
長期借入金の返済による支出	△3,932	△3,830
社債の発行による収入	—	147
社債の償還による支出	—	△15
支払手数料の支出	△70	△32
割賦債務の返済による支出	△269	△206
配当金の支払額	△107	△162
株式の発行による収入	1,584	—
その他	△0	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	484	△1,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,030	△146
現金及び現金同等物の期首残高	2,728	4,759
現金及び現金同等物の期末残高	4,759	4,612

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（たな卸資産の評価基準の変更）

当社は従来、たな卸資産の評価基準として、商品が陳腐化したと判断する年数を画一的に定めた上で、収益性の低下を一定期間経過後の商品に対して包括的に見積り、帳簿価額を段階的に切り下げる方法を採用しておりました。

当連結会計年度において、POSシステム導入後から蓄積された販売実績等のデータを分析した結果、仕入後一定期間経過した商品群ごとに陳腐化の有無を都度判断して値引販売を適時に行うことが当社の商品販売による資金回収額の最大化につながると判断しました。

これを受けて、たな卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、陳腐化したと判断した商品群について、過去の販売実績を考慮して帳簿価額を切り下げる方法へ変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的な検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、業態の類似性、営業形態の共通性等を総合的に考慮し、「㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する商品及びサービスの種類

「㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション」は、小売部門を担っており「ヴィレッジヴァンガード」、「new style」、アウトレット業態等をチェーン展開し、その運営を行っております。

「その他」は、株式会社Village Vanguard Webbed他3社であり、書籍、SPICE及びニューメディアの販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年6月1日 至 2018年5月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	㈱ヴィレッジ ヴァンガード コーポレー ション				
売上高					
外部顧客への売上高	33,410	775	34,186	—	34,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	64	120	△120	—
計	33,466	839	34,306	△120	34,186
セグメント利益又は損 失(△)	452	△84	368	3	371
セグメント資産	26,086	218	26,305	△21	26,283
その他の項目					
減価償却費	403	1	404	—	404
減損損失	229	—	229	—	229
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	515	2	517	—	517

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

① セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

② セグメント資産の調整額△21百万円には、投資有価証券等の全社資産1百万円、セグメント間債権債務の消去△30百万円及び貸倒引当金の消去7百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他にはVillage Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

当連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	(株)ヴィレッジ ヴァンガード コーポレー ション				
売上高					
外部顧客への売上高	33,032	829	33,862	—	33,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	36	110	△110	—
計	33,106	865	33,972	△110	33,862
セグメント利益又は損 失(△)	440	2	442	4	447
セグメント資産	25,694	208	25,903	△21	25,881
その他の項目					
減価償却費	308	2	310	—	310
減損損失	57	—	57	—	57
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	278	11	289	—	289

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- ① セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。
 - ② セグメント資産の調整額△21百万円には、投資有価証券等の全社資産1百万円、セグメント間債権債務の消去△30百万円及び貸倒引当金の消去7百万円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他にはVillage Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。なお、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましては、2018年9月28日に清算終了しております。

【関連情報】

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり純資産額	910円21銭	904円30銭
1株当たり当期純利益	22円43銭	8円74銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	22円24銭	8円74銭

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	227	188
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	52	120
(うち優先配当額 (百万円))	(52)	(120)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	174	68
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,761,748	7,821,675
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	67,521	885
(うち新株予約権 (株))	(67,521)	(885)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類（新株予約権の数571個）及びA種優先株式	新株予約権3種類（新株予約権の数495個）及びA種優先株式

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当事業年度 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,699	4,558
売掛金	1,229	1,217
FC未収入金	10	5
商品	16,087	15,871
前払費用	86	80
関係会社短期貸付金	61	61
短期貸付金	0	—
未収入金	47	93
その他	162	242
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,383	22,131
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,477	1,396
構築物(純額)	0	0
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	176	237
建設仮勘定	94	3
有形固定資産合計	1,748	1,637
無形固定資産		
ソフトウェア	189	397
ソフトウェア仮勘定	209	—
その他	1	1
無形固定資産合計	400	398
投資その他の資産		
関係会社株式	3	13
関係会社長期貸付金	341	—
長期前払費用	86	82
差入保証金	1,528	1,506
その他	9	10
貸倒引当金	△336	△9
投資その他の資産合計	1,633	1,604
固定資産合計	3,782	3,640
資産合計	26,165	25,772

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当事業年度 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,954	4,358
1年内償還予定の社債	—	30
1年内返済予定の長期借入金	3,473	3,423
未払金	570	508
未払費用	503	485
未払法人税等	267	254
未払消費税等	49	95
預り金	35	33
賞与引当金	50	56
資産除去債務	41	6
株主優待引当金	32	35
その他	0	0
流動負債合計	8,980	9,288
固定負債		
社債	—	105
長期借入金	6,302	5,572
長期未払金	229	155
退職給付引当金	252	225
役員退職慰労引当金	340	352
預り保証金	57	44
資産除去債務	1,175	1,186
繰延税金負債	17	7
固定負債合計	8,374	7,649
負債合計	17,354	16,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,301	2,315
資本剰余金		
資本準備金	2,278	2,292
その他資本剰余金	1,500	1,500
資本剰余金合計	3,778	3,792
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,699	2,706
利益剰余金合計	2,699	2,706
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,778	8,814
新株予約権	31	20
純資産合計	8,810	8,834
負債純資産合計	26,165	25,772

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
売上高	33,466	33,106
売上原価	20,750	20,687
売上総利益	12,716	12,418
販売費及び一般管理費	12,263	11,978
営業利益	452	440
営業外収益		
受取利息	1	1
仕入割引	28	32
業務受託料	80	97
関係会社貸倒引当金戻入額	8	—
為替差益	—	7
受取負担金	57	16
その他	38	35
営業外収益合計	215	191
営業外費用		
営業外支払手数料	70	32
支払利息	149	136
為替差損	11	—
その他	45	32
営業外費用合計	276	201
経常利益	392	430
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	5	2
事業分離における移転利益	276	—
特別利益合計	281	3
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	31	28
減損損失	229	57
子会社株式評価損	26	—
特別損失合計	287	86
税引前当期純利益	386	348
法人税、住民税及び事業税	159	188
法人税等調整額	17	△9
法人税等合計	176	178
当期純利益	209	169

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	2,246	2,223	—	2,223	2,598	2,598	△0	7,069	
当期変動額									
新株の発行	804	804		804				1,608	
剰余金の配当					△107	△107		△107	
当期純利益					209	209		209	
資本金から剰余金 への振替	△750		750	750				—	
準備金から剰余金 への振替		△750	750	—				—	
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	54	54	1,500	1,554	101	101	—	1,709	
当期末残高	2,301	2,278	1,500	3,778	2,699	2,699	△0	8,778	

(単位: 百万円)

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	38	7,107
当期変動額		
新株の発行		1,608
剰余金の配当		△107
当期純利益		209
資本金から剰余金 への振替		—
準備金から剰余金 への振替		—
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	△6	△6
当期変動額合計	△6	1,703
当期末残高	31	8,810

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション(2769) 2019年5月期 決算短信

当事業年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	2,301	2,278	1,500	3,778	2,699	2,699	△0	8,778
当期変動額								
新株の発行	14	14		14				28
剰余金の配当					△162	△162		△162
当期純利益					169	169		169
資本金から剰余金 への振替								-
準備金から剰余金 への振替								-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	14	14	-	14	7	7	-	35
当期末残高	2,315	2,292	1,500	3,792	2,706	2,706	△0	8,814

(単位:百万円)

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	31	8,810
当期変動額		
新株の発行		28
剰余金の配当		△162
当期純利益		169
資本金から剰余金 への振替		-
準備金から剰余金 への振替		-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△11	△11
当期変動額合計	△11	24
当期末残高	20	8,834